

議会だより だいせん

30号

2012年10月25日発行
鳥取県大山町議会



議会改革にご意見を 25
平成23年度決算は 1
14人が一般質問 11

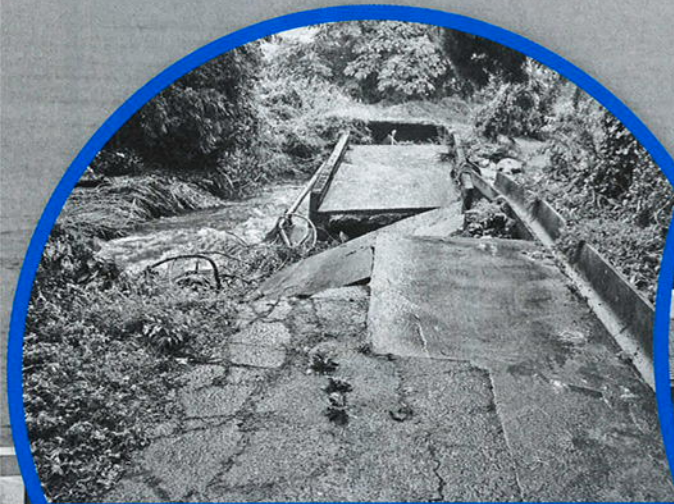
www.daisen.jp/gikai/

大山町議会

検索

9月議会で何が決まった？

平成23年度に行った主な事業



災害復旧事業

台風12号による被害などの復旧
2億2348万円



保育所統合事業

中山みどりの森保育園・
大山きやらぼく保育園の新築工事
7億6683万円



個人用住宅等改善助成

住環境の整備促進と地域経済の活性化
4200万円



デマンドバスの準備

電気自動車購入や充電器設置など
3108万円



仁王堂公園の施設整備

老朽化した遊具を撤去・新設
2900万円



予防接種の委託

ポリオワクチン接種費用の全額を助成
439万円

平成24年度一般会計補正予算の主な事業



やらいや果樹王国復権事業

梨の新・改植や機械の整備など
産地復活に助成
190万円



名和地区拠点保育所の整備

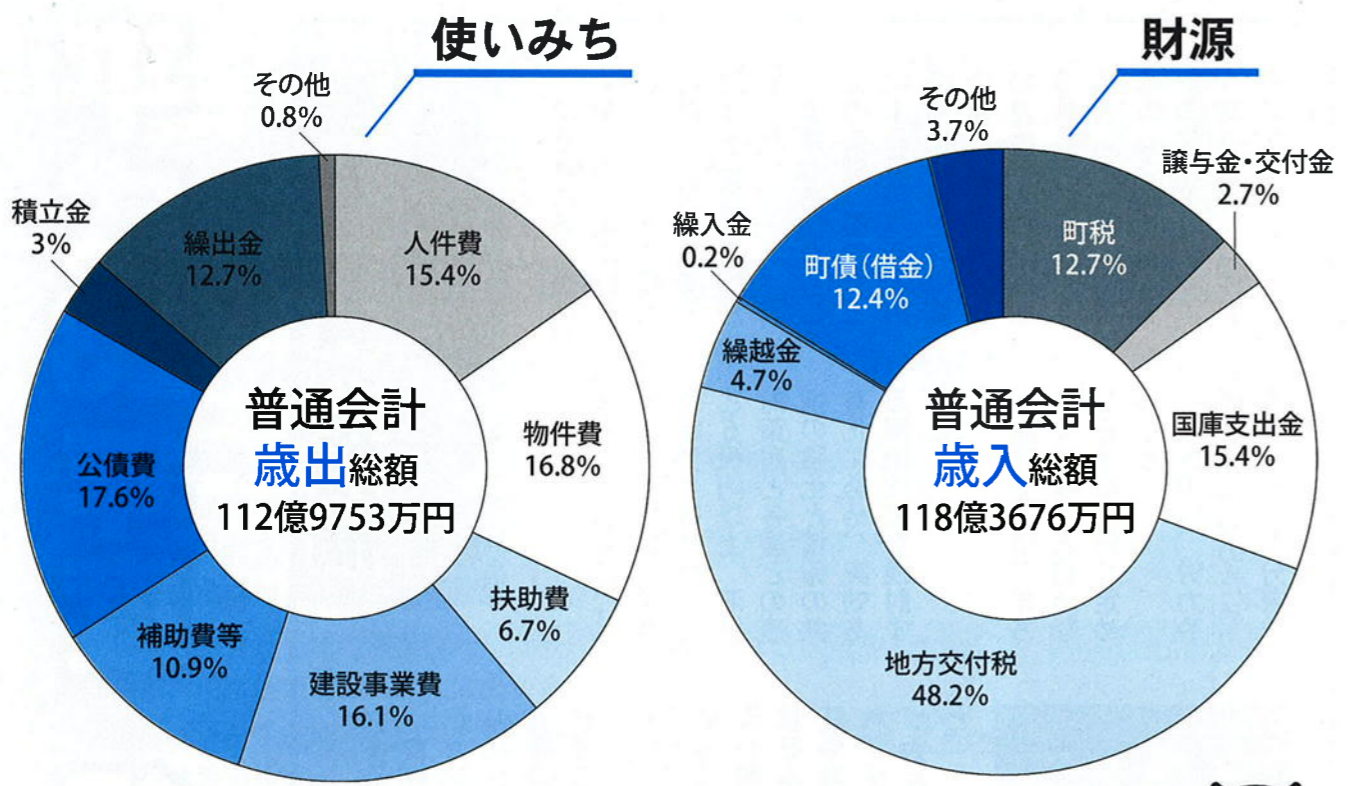
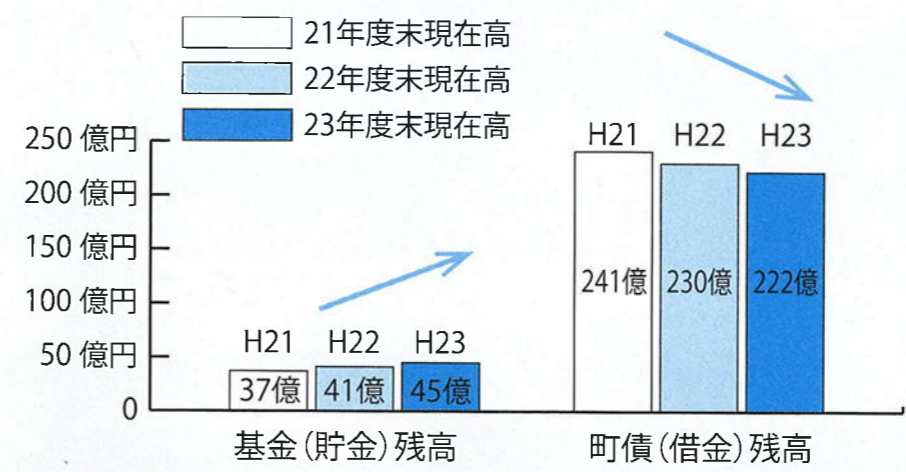
名和拠点保育所の用地取得と設計など
6453万円

大山町の財政状況は？


平成23年度普通会計の決算は、歳入総額118億3676万円(前年度比2億8479万円減)、歳出総額112億9753万円(前年度比2億6635万円減)となりました。

また、基金(貯金)残高は、一般会計が40億5130万円、特別会計が4億4418万円、前年度に比べ、両会計を合わせて3億5648万円の増となりました。

町債(借金)残高は、一般会計が117億7715万円、特別会計が104億3186万円、前年度に比べ、両会計を合わせて8億2669万円の減となっています。



【普通会計】
一般会計に土地取得、住宅新築資金等貸付事業、開拓専用水道事業、情報通信事業など公営事業会計以外の特別会計を加えたものです。



○普通会計 内訳 (金額・説明)

項目	23年度	22年度	比較増減	説明
町税	14億9990万円	14億9764万円	226万円	町民税などみなさんが直接町に納められるお金
譲与税・交付金	3億1922万円	3億7788万円	△5866万円	市町村の均衡を図るために国が交付するお金
国庫支出金	18億1964万円	20億460万円	△1億8496万円	国や県が使用目的を特定して交付するお金
地方交付税	57億271万円	56億9404万円	867万円	市町村の均衡を図るために国が交付するお金
繰越金	5億5768万円	4億9296万円	6490万円	前年度からの繰越金
繰入金	2982万円	2億4431万円	△2億1449万円	特別会計や基金から繰り入れるお金
町債(借金)	14億6680万円	12億8700万円	1億7980万円	町が事業を行うために借り入れるお金
その他	4億4099万円	5億2312万円	△8213万円	使用料・財産収入・特別会計からの繰入金・繰越金
合計	118億3676万円	121億2155万円	△2億8479万円	
人件費	17億4063万円	17億8412万円	△4349万円	職員の給料や議員報酬などに使うお金
物件費	19億230万円	17億6395万円	1億3835万円	賃金・業務委託料・消耗品・備品購入に使うお金
扶助費	7億5641万円	6億9803万円	5838万円	医療費・子ども手当などに使うお金
建設事業費	18億1806万円	16億5210万円	1億6596万円	道路整備・建物などの建設に使うお金
補助費等	12億2918万円	12億6313万円	△3395万円	補助金・負担金として支出するお金
公債費	19億8875万円	17億6840万円	2億2035万円	町の借金を返済するために使うお金
積立金	3億3583万円	7億6337万円	△4億2754万円	町の基金に積み立てるお金
繰出金	14億3381万円	17億8163万円	△3億4782万円	特別会計に繰出金として支出するお金
その他	9256万円	8915万円	341万円	施設の維持補修費、貸付金・出資金などに使うお金
合計	112億9753万円	115億6388万円	△2億6635万円	

○町債残高内訳 (平成23年度末現在)

会計名	22年度末現在高	23年度末現在高	増減額
一般会計	119億1421万円	117億7715万円	△1億3706万円
特別会計			
住宅新築資金	7147万円	5968万円	△1179万円
情報通信	12億7838万円	11億187万円	△1億7651万円
地域休養	-	560万円	560万円
簡易水道	3146万円	5100万円	1954万円
国保直診	3億8770万円	3億4451万円	△4319万円
介護	1700万円	5700万円	4000万円
農業集落排水	47億9779万円	45億7043万円	△2億2736万円
公共下水道	42億7910万円	40億5554万円	△2億2356万円
風力発電	1億5274万円	1億3668万円	△1606万円
宅地造成	1億585万円	4955万円	△5630万円
小計	111億2149万円	104億3186万円	△6億8963万円
合計	230億3570万円	222億901万円	△8億2669万円

○基金・町債残高 (平成23年度末現在)

		22年度末現在高	23年度末現在高	増減額
基金(貯金)残高	一般会計	37億4809万円	40億5130万円	3億321万円
	特別会計	3億9091万円	4億4418万円	5327万円
町債(借金)残高	一般会計	119億1421万円	117億7715万円	△1億3706万円
	特別会計	111億2149万円	104億3186万円	△6億8963万円

平成23年度 行政を評価するよ...

監査委員の指摘

代表監査委員 松本 正博
議会選出監査委員 鹿島 功

①町職員による信用失墜行為が相次いだ
が、平成23年度中も財務・決算事務で不適切な事務処理があった。
全体の奉仕者としての自覚、研修などによる職務遂行能力の強化、また、組織全体として、縦・横の連携、「報告（ほうご）・連絡（れんご）・相談（そうご）」によるコミュニケーションの強化をはかるよう職場環境を整備すること。

②未収金の累積は、町税・国保税・住宅新築資金等貸付金など6億円以上。滞納対策室と各課との連携の強化と情報の共有化に努め、実効ある滞納施策を検討すること。

③遊休施設は、まちづくり事業と絡めながら活用方針を定めること。
遊休地は、労力や経費の節減のため、売却を含む処分を検討すること。

④大山診療所の1階部分は、固定医の確保が難航している現状をふまえ、民間委託や廃止も視野に入れ、診療や運営のあり方を検討すること。



監査意見書を町長に提出

議会の意見

決算審査特別委員会

①一般会計決算は111億円と近年にない大規模決算となった。後年度の公債費の増加、地方交付税の減少が予測される。
将来を見すえ、健全かつ安定した財政運営に努めること。

②未収金は、平成22年度比で32万円増加している。滞納対策室と各課の連携や、滞納者の実態調査が不足している。情報の共有化をはかり、実効ある滞納対策に取り組むこと。

③町職員の不祥事に対する改善策は、行政内部にとどまっている。職員が一丸となって再発防止に取り組む仕組みや、意気込みを町民に示すこと。

④大山恵みの里公社は、基本理念・計画にそった事業が推進されているか、運営方針と事業内容を検証すること。

⑤地域休養施設「山香荘」は、多目的グラウンド整備を行い、平成25年度から供用開始する。運営方針や詳細が不明なので、指定管理者と協議し明らかにすること。

⑥大山診療所は、固定医の確保が困難との報告を受けているが、よりよい運営方針を検討すること。

一目でわかる審議結果

9月議会提出議案

議案	結果
大山町個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決
大山町防災会議条例の一部を改正する条例	可決
町道路線の変更	可決
工事請負変更契約の締結（大山町名和地域休養施設整備工事）	可決
大山町過疎地域自立促進計画の変更	可決
一般会計歳入歳出決算の認定	認定
土地取得特別会計歳入歳出決算の認定	認定
住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定
開拓専用水道特別会計歳入歳出決算の認定	認定
情報通信事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定
地域休養施設特別会計歳入歳出決算の認定	認定
簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定
国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定
国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算の認定	認定
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定
介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定
農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定
公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定
風力発電事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定
温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定
宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定
索道事業特別会計決算の認定	認定
鳥取県西部町村情報公開・個人情報保護審査会特別会計決算の認定	認定
水道事業会計決算の認定	認定
一般会計補正予算（第5号）	可決
情報通信事業特別会計補正予算（第2号）	可決
地域休養施設特別会計補正予算（第2号）	可決
介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決
風力発電事業特別会計補正予算（第1号）	可決
索道事業特別会計補正予算（第1号）	可決
大山町職員の給与の特例に関する条例	可決

議員提出議案	結果
地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書	可決
北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書	可決
香港民間団体による領海侵入及び尖閣諸島不法上陸に関する意見書	可決
李明博韓国大統領の言動に抗議し、政府に対韓国外交の見直しを求める意見書	可決
鳥取県老人クラブ社会参加活動促進事業の継続を求める意見書	可決

詳細は24ページをご覧ください。

議案とチェックします! 決算認定の質疑

情報開示請求

【西山議員】 個人情報保護条例の改正は、亡くなった人の個人情報の開示請求とのことだが、詳細は。

【総務課長】 国の法律に先行して、平成13年に西部町村会で条例化した。亡くなった人の情報を全部公開するものではない。相続人に開示できるものは、診療記録・診療報酬明細書・検診結果など、医療福祉に限った相談記録である。

工事の変更契約

【池田議員】 山香荘の工事請負変更契約の総額2400万円のうち、開発申請費563万円の増額内容の詳細は。プロポーザルの際に、含まれてなくても工事ができたのか。

【観光商工課長】 景観法、森林法などの法律にもとづいて行う用地測量や開発申請などの費用。当初、プロポーザルで採用した計画で契約したので、本測量などがなかったため、事業執行できるかどうかからなかった。

家賃の滞納

【椎木議員】 町営住宅の家賃に合併前からの過年度滞納があるが、対応は。

【建設課長】 過年度の家賃は時効中断して、少額ずつでも納入してもらう。低所得者向けの住宅なので、法的措置はできない。前年度、中山の古い住宅を払い下げた。町の方針として、可能な住宅については払い下げをしていく。

結婚対策事業

【杉谷議員】 結婚対策事業に25万円の補助金。昨年度、どれだけゴールインがあったか。室長の意気込みは。

【未来づくり戦略室長】 昨年度、結婚推進委員を5人に依頼した。情報提供や紹介などに尽力してもらっている。その結果、今年度に入って1組結婚した。相談会だけではむずかしい。婚活パーティイベントをする団体、民間の力を借り、成婚につなげたい。

積立金

【野口昌議員】 積立金5億円の予算額に対して、不用額が1億9000万円と多額。議会の議決と予算執行が矛盾するのではないかと。

【総務課長】 毎年このようにやっている。予算が最終的にどの程度残るかかわらないので、こういうかたちをとっている。できるだけ予算に合わせた対応ができるよう努力したい。
★不用額とは? 自治体の予算額と実際に支出した額の差額のこと

地産地消率

【吉原議員】 保育所のまかない材料費が3643万円の決算。保育所の地産地消率は。小・中学校給食の地産地消率は70%以上。保育所へ地産地消を要望する考えはあるか。

【幼児教育課長】 地産地消率の調査はしていない。保育所の調理師は、地元食材を利用するよう努めている。今年度は拠点保育所ができたので、今後、積極的に地元産品を使っていきたい。

大山診療所

【西尾議員】 大山診療所は、今年度1500万円ほどの赤字。固定医が決まらなければ赤字が続く。今後の取り組みは。

【町長】 厳しい現状の中で、固定医の確保に鋭意努力している。
【保健課長】 外来人数は、平成22～23年度が横ばい状態。新たな大山診療所の体制づくりを考え、診療人数の増に努めたい。

奨励金

【米本議員】 イノシンなどの捕獲成果が上がっていない。奨励金が出ていない狩猟期にも出して、個体数を減らすべきではないか。

【農林水産課長】 狩猟期の奨励金についても、今年度から取り組むよう検討する。狩猟期以外の奨励金は、1頭当たり1万5000円。平成22年度の狩猟期の捕獲数は27頭。予算は50頭分を計上している。狩猟中に何らかの対応をしたい。

戸別所得補償

【岡田議員】 農業者戸別所得補償制度促進事業の補助金で、農業再生協議会事務費の内容は。

【農林水産課長】 平成23年度に設立された農業再生協議会は、水田協議会・耕作放棄地対策協議会・担い手協議会を一つの協議会にまとめたもの。その事業にかかる事務費の補助金で、平成23年度までは農協に委託していた。

住宅改善助成

【大森議員】 個人用住宅改善助成制度の平成25年度からの判断材料として利用した住民や業者の反応を把握する考えはないか。この制度のPRは、どうするか。

【観光商工課長】 住民の声や商工会・職人組合を通して、現場の声を聞いているが好評だ。商工会・職人組合から利用者に声をかけてもらうことが周知の徹底策と思つ。

大山金龍

【岩井議員】 大山金龍株式会社と町との連携がうまくいっていないのか。
【副町長】 円高のため、いま進出できない。また、旧光徳小学校体育館の改装に1000万円かかるということで躊躇している。早く調整をしてもらって進出してほしい。

領土問題

【諸遊議員】 領土問題で韓国・中国と摩擦があるが、領土に関して、日本の教育はどのように行われているか。
【教育長】 領土の問題は国の基本である。中学校の地理・歴史で学習している。

常任委員会の活動



議会では、より詳しい審議をするため3つの常任委員会を設置し、担当を分けた活動も行っています。委員会の様子は、ケーブルテレビで生放送が行われていませんが、不定期で録画したものを放送しています。また、本会議と同様に委員会の傍聴もできますので、議会事務局までお問い合わせください。
大山町議会事務局 ☎ 0859-54-5213 島 0859-54-5214

総務常任委員会

【総務課】

Q旧中山中学校跡地(ホームセンター)の賃借料は。
A塩津交差点の工事で譲渡した面積分は減額している。



国道9号線の拡幅(塩津交差点)

もすすめてはどうか。この事業のねらいは人口増のほず。町独自ではむずかしい。相談者からは、外国人でもよいとは聞いていない。

Q「集落の健康診断」の成果は。
A 63集落で行い、地域活性化支援事業は14集落で実施した。実施していない集落でも、集落のことを考えるよい機会になった。

【中山支所総合窓口課】

Q合併前に購入した温泉入浴券は使用できるのか。
A有効期間の表記がないので使用できる。



なかやま温泉の入浴券

教育民生常任委員会

【福祉介護課】

Q小地域保健福祉活動の普及が低調であるが、取り組みの状況は。
Aこの事業は、集落などが主体的に取り組み保健福祉活動を支援し、支え愛のある地域づくりをめざしている。平成23年度は55団体が取り組み、176回の事業が行われている。区長会や保健・福祉推進員の研修会、大山チャンネルなどで周知し促進をはかっている。

なったのは。

A平成24年度から、更新の時期を4月から8月に変更し7月に送付した。病院窓口で一緒に出して利用してもらう高齢者受給者証や、限度額適用認定証などの更新時期が8月であることから、同じ時期にあわせて更新の時期を変更したものの。

【保健課】

Qポリオワクチンの接種方法の変更は。
A9月からポリオワクチンの接種方法が、生ワクチンの経口接種から不活化ワクチンの注射へ変更される。それにもない、集団接種から医療機関での個別接種に切り替わる。制度変更について、わかりやすく周知する。



更新時期が変更になった保険証

【学校教育課】

Q各学校の評価をどう整理、総括しているか。
A経営方針に関する校長ヒアリングをふまえ、学校訪問、調査結果の分析、学校評価報告などから評価している。読書が盛んな特長や、学力

【住民生活課】

Q平成24年度国民健康保険被保険者証の送付が7月に

向上の取り組み成果が見られる一方、家庭学習の少なさが課題である。

【幼児教育課】

Q保育所統合後の保育士は。
A大山・中山の拠点保育所では、各保育所を取り組んできた活動を生かし、新たな活動も取り入れながら、子どもたちの成長に合わせた保育を進めている。

【社会教育課】

Q光をそそぐ交付金で購入した、本の冊数や収納場所は。
Aこの交付金を利用して6151冊の本を購入した。あわせてこの交付金で、本棚を購入し、本館と分館に整理収納することができた。



保存地区をめざす所子集落

Q所子伝統的建造物群の保存は。
A集落の町並み調査の結果をもとに、国の重要伝統的建造物群保存地区の選定へ向け、9月からは事業推進の集落同意を得るため、班ごとの詳細説明会を開催している。

経済建設常任委員会

【観光商工課】

Qクロスカントリーの参加者が増えている。観光や消費につなげられないか。
A走りに来るのが目的のイベントであり、観光につなげるのはむずかしい。家族連れの人には喜ばれるので、イベントに合わせて「からす天狗市」を開催してもらっている。

Qリフォーム助成で、経済効果が上がっているとの報告はあるが、個人の貯蓄や、企業の内部留保に直結していれば、波及効果が少ないので、調査するべきではないか。
A企業側の調査は、商工会に頼んでいる。個人事業主の申告所得は増えている。個人の貯蓄は調べる方法がむずかしい。



参加者が増加しているクロスカントリー大会

資金繰りはよくなってきたが、大山町の生産物が売れる状況ではなかった。今年度は、町内産品が売れるように運営している。

【建設課】

Q平成23年度の事業で今年度への繰り越しが多い理由は。
A国からの補助金の交付決定が2月だった。交付決定が遅い関係で、繰り越し事業にせざるを得なかった。今回は、経済対策の臨時交付金もあったので、遅い交付決定となった。

【水道課】

Q開拓専用水道は、石綿管が使われているが、健康面は問題ないか。
Aまた、今後の改修の計画は。石綿は、空中に粉じんとして飛散すれば健康面に問題があるが、現状の水道管としての使われ方では問題ない。

老朽化が進んでいるが、町の管理ではないため補助制度がなく、負担が少なくなる借り入れもできない。今年度中には整備計画を決められるように協議をしていく。

【農林水産課】

Q政策の効果を判断するため、農業所得や農業従事者の増減数を決算ごとに出せないか。
A認定農業者などに絞れば数字が出せそうだが、町民全体となるとむずかしい。

Qチャレンジプラン・6次産業化の推進・エコ農業などの事業が、農家所得の向上につながっているか、わかるデータを示せないか。
A取り組む農家が少ない事業で数字を出すと、個人情報になる可能性もある。今後、検討していく。



ブロッコリーを収穫する新規就農者

自治法改正の対応は？

町長 自主性・自由度がためされる



西山 富三郎 議員

【西山】自治法の一部を改正する法律が、平成23年4月28日、参議院で可決成立した。基本構想の策定義務の廃止の趣旨は。

【町長】活気に満ちた地域社会をつくるために、自主性を強化し自由度を拡大し、みずからの責任において行政を展開する仕組みをつくる。

【西山】現在の基本構想の取り扱いは。

【町長】地方自治法上



改正された地方自治法

【西山】改正により、議会がまちづくりの基本的な方針に与えることが縮減しないか。

【町長】基本的な方向を定める計画などについては、議会と十分相談する。町民の視点にたった透明性の高い町政を運営する。

の位置づけはなくなったが、基本構想自体は廃止されない。総合的かつ計画的な行政運営の指針を示す位置づけとして

【西山】子どもたちの遊びが少なくなり、体力の低下だけでなく、キレる・荒れるといった心に関する教育問題と大きく関係していることが、脳科学にもとづいた研究からわかっている。

保育所での運動遊びは、どのように行われているか。

【教育委員会】リズム運動は朝9時30分から30分間、音楽に合わせて走るスキップ、ブリッジなどのほか、動物や昆虫をイメージしたポーズや動きを取り入れ楽しく体を動かす工夫をしている。

腕の力、足の力など体力がついてきた。リ



片足クマのポーズをする子どもたち(庄内保育所)

ズム感や機敏性もついてきた。

朝、体を動かすことで脳の活性化もはかられ意欲や集中力も高まる。

マラソンや遊具、ボール・マット遊びなど年齢にあった遊びを行っている。

教育委員会

からだを動かし脳と心を育てる

保育所での運動遊びは？

あなたの声を町政に

14人が町長・教育委員長・代表監査委員に、一般質問を行いました。

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育委員会などの方針を問うものです。

大山町は1人60分の制限時間内であれば、質問の回数に制限はありません。議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある、本会議場での傍聴をお待ちしています。

一般質問席

ページ	質問事項	質問議員
12	1. 地方自治法の一部を改正する法律の若干の問題 2. 全保育園、全保育所で運動遊びはどのように行われているか	西山富三郎
13	1. どうなる印刷工場、次の使い道は 2. 3年数カ月行政を預かった自己評価は	米本 隆記
14	1. 23年度決算について 1. 大山診療所の今後は	近藤 大介 池田 満正
15	1. いじめ問題について 2. 大山観光の取り組みについて	杉谷 洋一
16	1. 町管理のあき施設で地域活性化のまちづくりについて 2. 名和拠点保育園の新設について	岩井美保子
17	1. いじめと自殺 2. 財政状況について	西尾 寿博
18	1. 各施策の成果と検証は 2. 大山町の文化財保護行政を問う	吉原美智恵
19	1. 全国学力テストの結果と活かし方を問う 2. 大山町を守るため、有害獣「猪」の捕獲奨励金増額を	野口 昌作
20	1. 大山恵みの里公社への補助金のあり方について 2. 小・中学生に対し日本の国土(領土)についての指導は	諸遊 壤司
21	1. 就学援助制度の拡充を 2. 大山の頂上碑をどうする	大森 正治
22	1. いじめを許さない学校づくりを 2. 教員評価制度の運用状況と成果は	岡田 聡
23	1. 名和地区の拠点保育所 1. 町長としての実績と成果は 2. 次期町長選挙への意欲は 3. 町長としてのこれからのビジョンと決意は	竹口 大紀 小原 力三

議事録は議会事務局やホームページで閲覧できます

不祥事を どう受け止める？

町長 職員のモラルと
知識不足

【近藤】 決算審査意見書で、たび重なる職員の不祥事に対して、「行政に対する住民の信用、信頼が薄らぎつつある」という指摘をしている理由は。
【代表監査委員】 平成21年度に発覚した大山支所のごみ袋代金紛失事件以降、さまざまな不祥事が発生し、民間の事業者や町民に迷惑をかける案件が多発している。率直な感想を決算審査意見として述べた。

【近藤】 上司と部下との意思疎通がはかられていたら、防止できた案件が多くあったのではないかと思います。
【近藤】 監査委員の指摘事項をどのように受け止めているか。
【町長】 職員の不適切な行為の原因は、個人のモラルにかかる部分もあると思うが、事務的な基礎知識の不足や、コミュニケーション不足もあると考えている。



行政への信頼回復を

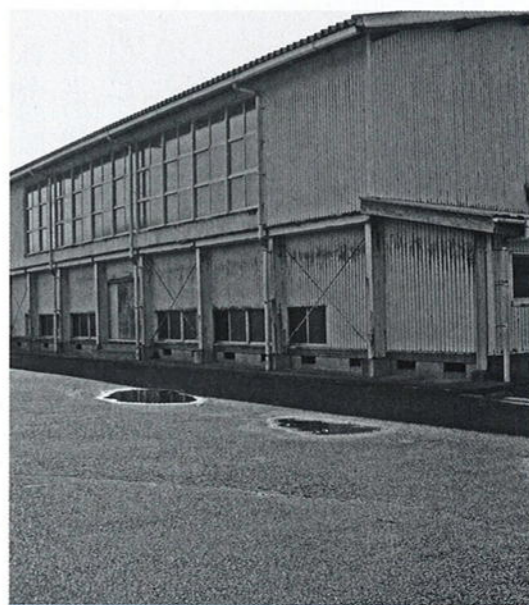
近藤 大介 議員

どうなる？ 印刷工場

町長 計画が遅れている

【町長】 急激な円高により、計画に大きな遅延が生じているが、協定はいわゆる紳士協定であり、計画の遅延を理由に一方的に解除することは困難である。
大山金龍は、来年1月終了予定で体育館の

支出したが、印刷機材の搬入がされない。昨年12月にも一般質問をしたところ、本年6月に操業予定だったが、9月になってもその動きがない。契約不履行として返還させてはどうか。
【米本】 光徳地区も今後地区会議の拠点が必要になることが予想される。大山地区と違い、名和・中山地区は地域に拠点となる施設がない。体育館を含め今後の使用方法を、地区会議にゆだねてはどうか。
【町長】 公共施設は、地区会議の達成度や事業計画など、総合的に判断してゆだねる。



印刷工場が操業予定の体育館

米本 隆記 議員

【米本】 旧光徳小学校の活用に、中国企業の誘致をし、昨年4月に操業予定であった。町は水道の配管や、もう一つの誘致企業との間仕切りに800万円を

どう生かす？ 大山診療所

町長 地域医療は重要だ

【池田】 森田町政は3年5カ月が過ぎて、残りの任期が7カ月となった。
選挙の時、大山診療所に固定医を確保すると言っていた。しかし、いまだに決まっていな残りの任期中に固定医を確保できるのか。
【町長】 固定医の確保は、診療所運営を安定した形で継続していくために最も重要だと認識している。今後も最大限の努力をしていく。

【池田】 なぜいまだに固定医が決まらないのか。
【町長】 医者も職業である。高い医療技術を身につけるためなど、特に若い医者は都市部へ集まる傾向が高い。本町と同様に、全国各地で医師確保の困難をなげく声が多い。
これまでも複数の医者や交渉してきたが、大山診療所に来るといふ決断にならなかった。地域医療の重要性を認識した医者に診療所を託したい。



いまだ固定医が決まらない大山診療所

池田 満正 議員

町長の自己採点は？

町長 80点くらい

【米本】 町長に就任して約3年半、大山町のかじ取りをしてきた。できなかったことがあれば、残り約半年で、何に重きを置くのか。
【町長】 不祥事発覚後の再発防止への取り組みができなかった。職員間のコミュニケーションづくりに取り組んでいる。
【米本】 町民に約束した選挙公約はどうなったか。
【町長】 「安心と元気」を基本とし、住民視点、現場視点で積極的に取り組んでいる。
【米本】 それをふまえて、100点満点で何点か。
【町長】 おおまかに80点くらい。



朝礼もコミュニケーションづくりのひとつ